

シンガポールへの日本食・産品輸出絶好調！ ～SJ50キックオフ！～

1 SJ50で日星交流拡大！

本年は、わが国とシンガポールとの外交関係樹立50周年という節目であり、「SJ50」というキャッチコピーの下で、官民様々な交流事業が展開されていきます。

つまり、今年は、シンガポールに日本を売り込む絶好のチャンスなのです！



2 オール関西で新たな展開！

1月8日（金）、当地の伊勢丹で「第2回 ALL 関西フェスティバル in シンガポール ITADAKIMASU. × 東北」が開幕しました（同月25日まで）。



関西では一昨年来、関西・食・輸出推進事業協同組合による主体的な取組みが進められてきました。特に今回は、京都府の協力で伝統工芸品が加わり、また空港民営化に向け新たな活用戦略を模索している東北地方からの参加があった点が特徴的です。

広域的かつ民主導という強みを生かし、一過性でない持続的な発展が期待されます。

なお、当事務所のフェイスブック上に日・英文で告知・実施報告を投稿し、活動支援の一環として広報協力させていただきました！



クリスピーなハツ橋は人気



京七宝職人自ら販売



宮城県のみかきイチゴ初上陸

3 森山農林水産大臣がトップセールス！



農林水産品輸出拡大は、当面1兆円規模を目指す国を挙げてのトライです。1月9日（土）には、「技 WAZA Enjoy Taste of Japan」が開催され、森山裕農林水産大臣が商業施設及び大使館施設での各イベントに出席されました。

会場では、
（株）三越伊勢丹

ホールディングス、ヤマト運輸(株)、(株)ANA Cargoの3社が連携して新たに立ち上げた、日本の産地からシンガポールに新鮮な産品を直送できる冷凍冷蔵輸送サービスの開始がアナウンスされました。また、上質の牛肉、刺身、イチゴや酒類の試食・試飲が行われ、100名ほどの出席者は、より良質でより安価な日本産品の今後の輸入拡大に期待を高めていました。



4 今年の販路開拓はシンガポールで！

このようにS J 50は既にキックオフし、細かいパスをつなぐかのように続々と自治体のプロモーション事業が開催されています。初参戦の福井県については、別途報告しています。京都府もロング・フリーキックを狙うかのごとく、2～3月に大規模な物産観光展を計画しているようです。

当事務所としましても、自治体の皆さんとがっちりスクラムを組んで支援してまいります。海外への販路開拓をご検討されている自治体におかれましては、どうぞシンガポールのフィールドへお越しください！

（鍋岡調査役 京都府派遣）